

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年9月9日
事業者名:	株式会社 丸 為

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	排出ガスのクリーンで低燃費の新型建設機械や作業車両への代替え導入を促進し、温室効果ガスの削減と化石燃料の消費削減を行っています。Gクレジット応援パートナーに登録し、森林保護に協力している	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑬気候変動に具体的な対策を、⑬すべての人に健康と福祉を	令和2年度最新式排ガス対応大型ダンプ導入、最新式建機1台導入 令和5年度最新式建機1台導入 令和6年4月作業車両(ダンプ)代替え R5年度10%減を達成(R3年度比) R6年7月Gクレジットを中津川市より5t-co2/年5年間購入決定	指標	二酸化炭素の排出量および、燃料消費の削減Gクレジットの購入
				目標	2030年度までに、二酸化炭素排出量R3年度比20%以上の削減を達成 化石燃料の消費15%以上の削減を達成 Gクレジットの年間5トン以上の継続購入
社会	地元小中学校の職場体験の受け入れ 地元高校の模擬面接指導への協力 地域子供会、老人会等への協力および社屋へのAED設置(地域の方への使用可能報告済み) 子供たちへの交通安全の啓蒙活動 人間ドック・脳ドックの会社負担による従業員の受診	⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑩人や国の不平等をなくそう、⑪住み続けられるまちづくりを	令和5年度中学生職場体験2校受け入れ 高校生模擬面接指導1校 令和6年中学生職場体験1校受け入れ 高校生模擬面接指導1校 令和5年度および令和6年子供会行事への協力を金援助および老人会駐車場提供 AEDの維持メンテナンス継続 令和5年11月子供交通安全イベントへの協力 R1年、R5年度脳ドック受診(会社負担) R5年社員配偶者までの会社負担受診実施	指標	地元小中学校の職場体験受け入れ、高校生模擬面接指導子供会・老人会への協力 AEDの継続維持 子供交通安全イベントへの積極的参加 脳ドックの継続
				目標	職場体験R10年度まで毎年受け入れ 以後継続 模擬面接指導の継続 子供会・老人会への機材提供や協力金・敷地提供など R10年度まで継続 以後継続 AEDの維持継続及び有効期限後の代替え(R8年) 子供交通安全イベントへの参加年2回以上を継続 脳ドック受診の継続および腫瘍マーカー受診の会社負担実施
経済	ICT建機の自社保有化の促進により、ICT施工の技術力を向上させて、業務効率の向上を図る デジタル技術を活用した測量システム・アプリの積極的導入により現場管理効率の向上を図る 人力作業の機械化および建機等の自社保有化を行い、労力削減による効率化を図る 作業性の良い資機材の積極導入による作業性向上による生産性向上	①貧困をなくそう、⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	R1年度 クレーン付き4輪駆動中型トラックを導入し現場の作業性15%向上 R3年度 3次元測量システムを導入し、現場測量の労力30%削減 R4年度 排水ポンプ・除草機・新型発電機等を導入し現場効率の10%向上 R5年度 ICT建機を自社購入し現場労務20%削減 R6年4月 4輪駆動4tダンプトラックを代替えし、排出ガス削減・低燃費化と現場生産性を5%向上	指標	契約書類の電子化 現場使用機械の自社保有比率 ICT建機の導入 労働効率化機材の追加導入
				目標	2030年度までに契約書類の電子化80%以上 2030年度までに現場使用機械の自社保有比率80%以上 2030年度までにICT建機の導入3台以上 2030年度までに労働効率化機材の導入・代替え3台以上
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PCDAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>  重点項目について社内会議での共有を実施している。また、進捗状況について確認と、業務における改善策を協議している。 3側面の取り組みについて担当を決め、その達成にむけて進捗状況の把握と確認、報告を行っている。 業務効率の向上・排出ガスの削減等の資機材の情報収集を行い、取り組みへの新たな導入等に対して社内会議で検討している			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGSの対外的取り組み公表： 社屋掲示板にSDGSへの取り組みを常時掲示し、地域住民や会社来客、取引先関係者、社員、へ周知公表を行っている。 県発注工事受注の際はSDGS表示を行い、社内外に取り組みについて対外的に公表している			